

教師用指導書

解説編

- 中学音楽では、〈学びのユニットについて〉〈年間指導計画（モデルプラン）〉〈評価計画（モデルプラン）〉〈赤刷〉〈学びのユニット〉〈教材解説〉〈資料 特別支援教育〉を、中学器楽は、〈学びのユニットについて〉〈指導計画・評価計画〉〈学びのユニットの特徴〉〈学びのユニット〉〈赤刷〉〈楽器解説〉を、詳しく丁寧に扱っています。

指導者用デジタル教科書(教材)

NEW!

指導者用デジタル教科書を指導書の中に位置づけ、よりお求めやすいいたします。
教科書紙面の他、コンテンツも多数収め、授業の可能性をひらきます。



楽譜連動再生…再生部分がハイライト(着色)表示されます。音源は範唱やカラピアノなど、利用場面に合わせたものを添えます。



創作ツール…題材にそった創作を可能にするツールを適宜用意します。また、ツールバーにも、音色や長さを指定して活動を促すツールをおきます。



動画…教科書で扱うリコーダーや箏などの範奏映像が簡単に視聴できます。



ワークシート…表示やプリントができます。全ユニットのワークシートをご用意しております。

伴奏編

- 中学音楽
歌唱教材の本伴奏、簡易伴奏、参考楽譜を掲載しました。必要に応じて各種の伴奏譜を用いながら、授業を進めることができます。指導書独自の参考教材も掲載してあります。
- 中学器楽
教材曲をピアノ伴奏付きで掲載しました。各練習曲や「名曲旋律集」などは、生徒の意欲を喚起するようにアレンジを工夫しています。



1年「青空へのぼろう」本伴奏

CD

- 中学音楽
範唱・伴奏CD → 1年…4CD, 2・3年上…4CD, 2・3年下…4CD
歌唱教材の範唱及び伴奏を全曲収録しています。生徒が曲のイメージをよりの確につかめるように配慮しました。
- 合唱パート別練習用CD → 1年…3CD, 2・3年上…3CD, 2・3年下…3CD
合唱教材を、各パート別に収録しています。各パートを理解するためのサンプル音源として、また効率よく練習するためのツールとしてお使いいただけます。
- 鑑賞CD → 1年…4CD, 2・3年上…4CD, 2・3年下…4CD
鑑賞教材及び教科書に掲載している比較聴取教材などを多数収録しています。
- 中学器楽
範奏CD → 1～3年用…2CD
各種楽器の奏法や基礎練習、及び重奏・合奏の範奏をもれなく収録しています。生徒が曲のイメージをよりの確につかめるように配慮しました。

→ 解説編・指導者用デジタル教科書(教材)・伴奏編・CDをセットにした大変便利な製品をご用意しております。

教師用指導書・デジタル教科書等のご紹介

教師用指導書 解説編 (「赤刷」「学びのユニット(ユニットの指導と評価の具体)」「教材解説」)

「教師用指導書解説編」には、教科書の縮刷りに指導のポイントを朱書きで示した「赤刷」、各ユニットの指導と評価の具体を丁寧に説明した「学びのユニット」、表現教材における活動の事例や鑑賞教材における詳しい楽曲解説などをまとめた「教材解説」が掲載されています。

中学音楽 ④ 音楽のおくりもの 教師用指導書 解説編

学びのユニットについて 年間指導計画 (モデルプラン) 評価計画 (モデルプラン) 赤刷 学びのユニット 教材解説 資料 特別支援教育

全体の構成を考えながら音楽をつくらう

創作の活動という、五線紙上に西洋音楽の仕組みに則って音符や休符を並べて「曲」をつくる、いわゆる作曲を頭に描く指導者が多いと思うが、学習指導要領で示されている「創作」の活動内容はもっと幅広いものである。

この事例は、生徒の身近で聞くことのできる「生活音」や「自然音」、「動物などの鳴き声」、あるいは「様子を表す言葉」などのいわゆるオノマトペを使って、複数人で「言葉」(オノマトペ)を重ねたり、つなげたり、構成を工夫して音楽をつくる活動である。

五線譜や音符・休符を用いないので、読譜や記譜に対し苦手意識を持っている生徒にも活動に意欲的に取り組むことができる。

オノマトペとは擬声語と呼ばれるもので、「擬音語」(物が発する音や声をまねて文字で描写したもの)と「擬態語」(状態や心情など、音のないものを音によって表す言葉)に分けられる。

はじめに 活動①に入る前に、オノマトペについて説明する必要がある。さらに、教科書の「はじめに」の例の余白に、一人5〜6個程度考えてから記入させる。次に、それらを発表しクラス全員で共有させると、次の活動の時間の短縮につなげることができる。

「工夫の例」アの「ポッポー」だけ一定の速度で表現させ、他の言葉は自由に速度で好き勝手に表現させる。

「重ね方の例」

言葉と言葉が偶然重なったり、上手い具合にズレたりしたときの重なり面白さを感じ取らせることが重要なこととなる。

活動 3 テーマにそった簡単なストーリーを想像し、構成や言葉の重ね方を工夫して、イメージに合った音楽をつくらう。始め方と終わり方も工夫しよう。

ここで、テーマを膨らませて簡単なストーリーを考えさせるわけであるが、教科書の例のように3部構成でも良いし、4コママンガのように起承転結の4部構成でも良い。ただし、あまり複雑にならないよう指導すること

「赤刷」
「学びのユニット」
「教材解説」
紙面の例(抜粋)

中学音楽 ④ 音楽のおくりもの 教師用指導書 解説編

学びのユニットについて 年間指導計画 (モデルプラン) 評価計画 (モデルプラン) 赤刷 学びのユニット 教材解説 資料 特別支援教育

▶ ユニットの指導と評価の具体

学習内容	学習活動・留意点
	<ul style="list-style-type: none"> リトルネッロ部やエピソード部を確認しながら聴取させ、気がついたことなどメモを取りながら鑑賞させる。
	<p>リンク⑥の活用</p> <p>楽曲全体の構成を聴き取ったり、自分の考えをまとめたりするためのワークシートを準備しています。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ワークシートの内容を発表し合い、他者の考えを参考にしながらまとめの鑑賞をしてワークシートを整える。 「春」第1楽章をもう一度鑑賞させる。

学習内容	学習活動・留意点
<p>4 「春」第1楽章と「秋」第1楽章の共通性や固有性を整理し、それぞれについて自分なりの価値意識を考え、発表・交流する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> リトルネッロ形式による音楽の構造を捉えながら、「春」第1楽章と「秋」第1楽章を聴取る。 「似ているところ(共通性)」と「違っているところ(固有性)」について気がついたことや聴き取ったことを発表し合う。 <ul style="list-style-type: none"> 発表した内容を板書などで整理し、学級全体で共有できるようにする。 「春」第1楽章と「秋」第1楽章のそれぞれについて自分なりに考えた魅力やよさなどをワークシートにまとめる。

評価の具体 ①

知識・技能	「春」の曲想とリトルネッロ形式による音楽の構造の関わりを理解しているか、教科書の記録や 2 の学習で記述したワークシートの内容から評価する。
思考・判断・表現	「春」に対する評価とその根拠について自分なりに考え音楽のよさや美しさを味わって聴いているか、2 の学習で記述したワークシートの内容や交流時の発表内容から評価する。
主体的に学習に取り組む態度	「春」のよさや美しさを味わって聴く学習に主体的・協働的に取り組んでいるか、1〜2 の学習への取組みの様子を観察し評価する。

評価の具体 ②

知識・技能	曲想とリトルネッロ形式やソネットとの関わりについて理解しているか、教科書の記録や 3 の学習で記述したワークシートの内容から評価する。
思考・判断・表現	鑑賞に関わる知識(曲想とリトルネッロ形式やソネットとの関わり)を得たり生かしたりしながら、曲や演奏に対する評価とその根拠について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いているか、2 や 4 の学習で記述したワークシートの内容や交流時の発表内容から評価する。
主体的に学習に取り組む態度	鑑賞に関わる知識を得たり生かしたりしながら、曲や演奏に対する評価とその根拠について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く学習に主体的・協働的に取り組んでいるか、1〜4 の学習への取組みの様子を観察し評価する。

深めてみよう

「弦楽合奏のセレナード」第1楽章について、これまでの学習で学んだ知識を活用して、よさや美しさを味わいながら聴く。	<ul style="list-style-type: none"> 弦楽オーケストラやソナタ形式による近・現代の作品としての特徴を聴き取り、音楽の構造を捉え、音楽のよさや美しさを味わいながら鑑賞する。
--	--

3 「秋」第1楽章の曲想とリトルネッロ形式との関わりを理解しながら鑑賞する。

- 「秋」のソネットを教科書で確認する。
 - イタリアの秋の様子を表していることを確認する。
- リトルネッロ部を聴取し、エピソード部をはさんで5回反復していることを理解し、気がついたことや面白いと思ったことをワークシートに記録する。
- ワークシートの内容を発表し合い、他者の考えを参考にしながら再度鑑賞をして、ワークシートを整える。
 - ワークシートの内容を交流することで、他者の聴き方や考え方を参考にさせる。

中学音楽 ④ 音楽のおくりもの 教師用指導書 解説編

学びのユニットについて 年間指導計画 (モデルプラン) 赤刷 学びのユニット 教材解説 資料 特別支援教育

何が同じで、何が違う?

声の出し方から、音楽の特徴をみていこう。

	八木節 p.54	ホーミー p.55
声の音色の特徴	声の音色、声の出し方(発声)や発音の仕方、言葉の有無	声の音色、声の出し方(発声)や発音の仕方、言葉の有無
表現している旋律の特徴	旋律の動き方、姿勢、音程や調性、形式や構成、言語の有無	旋律の動き方、姿勢、音程や調性、形式や構成、言語の有無
自分が着目したこと	声と楽器の合わせ方、衣装や楽器と音楽との関係、作詞・演奏される場、歌詞の内容や音楽が生まれた背景などに着目	声と楽器の合わせ方、衣装や楽器と音楽との関係、作詞・演奏される場、歌詞の内容や音楽が生まれた背景などに着目

それぞれの音楽の特徴を踏まえて、共通点や相違点について考えてみて、そして気がついたことを交流して紹介しよう。

考えたり紹介したりする際、実際に声の出し方をまねたり旋律の一部を歌ったりして表現活動を促わせ、言語のみの活動にならないように配慮する

天台声 朝やケチャ、布農(ブナン)族の合唱についても比較しながら整理してみよう

天台声 朝 p.54 ケチャ p.55 布農(ブナン)族

合唱曲やポピュラーミュージックのライブ演奏など、必要に応じて生徒の興味関心のある声の要素も加えてみる

学習資料 弦楽アンサンブルに用いられる楽器・口絵④ 61

近・現代の弦楽合奏の響きを聴き取り、楽曲全体の構成について考えながら聴き深めます。 見方・考え方のヒント

学習者用デジタル教科書

何度でも書いたり消したりでき、考えの共有に役立ちます。

● 三つの基本機能

〈拡大〉〈ページ送り戻り〉〈ペン・消しゴム〉の三つの基本機能がいつでも表示されるので、すぐに使えます。

● まなびリンクへのアクセス

約120の「まなびリンク」にページから直接アクセスできます。

● 学習支援機能

- ・自動音声読み上げ
- ・総ルビ(ふりがな)
- ・分かち書き
- ・リフロー(たて書き/よこ書き変更, 書体変更, 文字サイズ変更, 色変更, 行間変更)



拡大教科書

視覚障害のある生徒などが見やすく使いやすいように、通常の教科書をもとに、文字を大きくしたりレイアウトをし直したりして再編した教科書です。

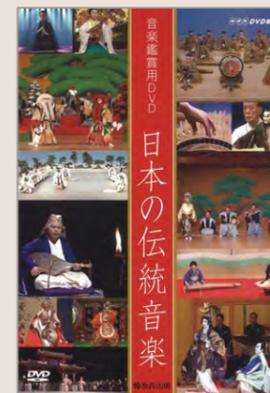
教材品

● 音楽鑑賞用DVD

鑑賞教材を中心とした映像資料集「中学校音楽鑑賞用教材集」、能、狂言、歌舞伎などの映像をコンパクトにまとめた「日本の伝統音楽」、世界各地のさまざまな声や楽器の映像を集めた「世界の諸民族の音楽」、管弦打楽器の特徴、リハーサル風景、裏方の仕事など、オーケストラの魅力が満載の「オーケストラ入門」など。

● 曲集

混声合唱曲集「music jam SENIOR 1~4」「J-CHORUS」、西澤健治作品集「With you ありがとう」「風と恋人」、川崎絵都夫作品集「夢の風」、同声・女声合唱の楽しみ「花はいろ」(川上弥栄子 編)、「ケチャ・パーティ」(橋本龍雄 編・著) 他



日本の伝統音楽



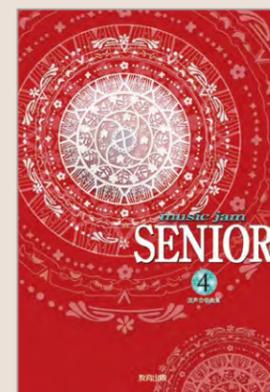
世界の諸民族の音楽



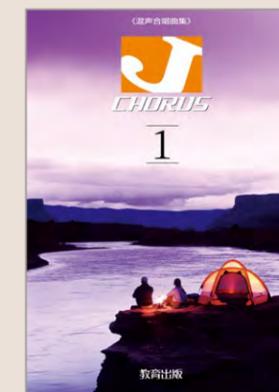
オーケストラ入門



曲集に掲載されている楽曲の範唱とカラピアノを収録したCDもご用意しております。



music jam SENIOR 4



J-CHORUS



With you ありがとう